

1. 次の英文を和訳せよ。

The Experience of Japan, however, demonstrates that avoiding inflation bias does not require central-bank independence. Japan's relatively autonomous government bureaucracy generally, and the position of the Ministry of Finance in particular, has contributed to a credible commitment to low inflation. But the objectives of the Ministry of Finance are much broader than price stability alone, so an independent Ministry of Finance - Bank of Japan coalition is not functionally equivalent to an independent central bank. Rather, we argue, discipline on monetary policy is derived from the long-lived nature of the bureaucracy and from the long dominance of the Liberal Democratic Party. Because of the long tenure of Japanese policymakers, reputation is more important in Japan than most other industrial countries.

(Thomas F. Cargill, Michael M. Hutchison, and Takatoshi Ito, 1997, "The Political Economy of Japanese Monetary Policy" MIT Press, p.194)

※注：Ministry of Finance - Bank of Japan coalition: 大蔵省・日本銀行連合

2. ある閉鎖経済（輸出入がない経済）において、消費関数が

$$C=200+0.8(Y-T)$$

ただし、C: 民間最終消費支出、Y: GDP、T: 租税（収入）

と表され、投資関数が、

$$I=100-1600r$$

ただし、I: 投資（固定資本形成）、r: 利子率

と表され、貨幣需要関数が

$$L=Y-2000r$$

ただし、L: 貨幣需要

と表されるとする。また、中央銀行は、貨幣供給を（ちょうど貨幣需要と等しくなるように）850だけ行ったとする。このとき、下記の(1)と(2)について答えよ。

(1) 政府が所得税のみを、

$$T=0.1Y$$

となるように課税して、その租税収入と財政支出 G が均衡するように財政運営を行ったとする。このとき、マクロ経済において実現する GDP と利子率の水準はいくらになるかを答えよ。

(2) 政府が、財政支出 G を 30 だけ行ったとする。その際、財政支出 G の財源を全て市中消化による公債によって賄うこととし、租税を一切課税しなかったとする。このとき、マクロ経済において実現する GDP と利子率の水準はいくらになるかを答えよ。

※注意：答案用紙には、途中の計算過程も残しておくこと（きれいに書いていなくてもよい）。正解と異なっていた場合には、計算過程の内容が重要になる。

3. 次のミクロ経済学に関する①～⑥の記述について、正しい場合は○、間違っている場合には×をつけて答えよ。また、誤っている×の記述について、その理由を簡単に答えよ。

- ① 縦軸を価格、横軸を数量とした図において、需要曲線が右上がり（価格と数量が正の相関関係）になることはない。
- ② 独占企業が生産する財の市場において、限界費用と限界収入が等しくなるところで生産が行われる。
- ③ 上級財（正常財）である財は、所得が増えると消費量が減る。
- ④ 供給の価格弾力性とは、供給量が1単位増えたときに価格がいくら上がるかを表したものである。
- ⑤ 限界生産性逓減の法則とは、生産される財の生産量が増加するにつれて限界生産性が低下することである。

4. <この問題は、時間に余裕がある場合に限り解答してもよい；解答しないからといって減点にはしない>

2つの消費財（私的財）AとBがあり、それを消費することにより効用を得る消費者がいたとする。財Aの消費量を x_A 、財Bの消費量を x_B として、この消費者の効用関数が

$$U(x_A, x_B) = \ln(x_A) + \ln(x_B)$$

と表されるとする。この消費者は640の所得を持っている。いま、財Aの価格が10で、財Bの価格が16であるとする。このとき、この消費者にとって各財の最適な消費量はそれぞれ何単位か答えよ。

※注意：答案用紙には、途中の計算過程も残しておくこと（きれいに書いていなくてもよい）。正解と異なっていた場合には、計算過程の内容が重要になる。